

CP-4-II-01Y	コミュニティーファーマシー	第4学年	前期 必修	1単位
担当者	山村 美保			
一般目標 (GIO)	コミュニティーファーマシー（地域薬局）のあり方と業務を理解するために、薬局の役割や業務内容、医薬分業の意義、セルフメディケーションなどに関する基本的知識と、それらを活用するための基本的態度を修得する。			
到達目標 (SBOs)	<p>【地域薬局の役割】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域薬局の役割を列挙できる。 2. 在宅医療および居宅介護における薬局と薬剤師の役割を説明できる。 3. 学校薬剤師の役割を説明できる。 <p>【医薬分業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬分業のしくみと意義を説明できる。 2. 医薬分業の現状を概説し、将来像を展望する。 3. かかりつけ薬局の意義を説明できる。 <p>【薬局の業務運営】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保険薬剤師療養担当規則および保険医療養担当規則を概説できる。 2. 薬局の形態および業務運営ガイドラインを概説できる。 3. 医薬品の流通のしくみを概説できる。 4. 調剤報酬および調剤報酬明細書（レセプト）について説明できる。 <p>【OTC薬・セルフメディケーション】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域住民のセルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を討議する。 2. 主な一般用医薬品（OTC薬）を列挙し、使用目的を説明できる。 3. 漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保健機能食品について概説できる。 			
受講心得・準備学習等	出席を重視する。日常生活において、地域薬局を利用する場合には、様々な立場に身を置いて見学すること。			
事後学習・復習等	学習範囲が多岐に渡るため、授業後に復習すること。 事前学習と連動する部分もあるため、実習を通じて知識をより深めるように努力すること。			
オフィスアワー	毎週月曜日～木曜日の在室中は、随時受け付けます。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式で行う・演習を実施する。	
回	項目	内容	SBOコード
1	・地域薬局の役割 ・医薬分業 ・薬局の業務運営	・地域薬局の役割を列挙できる。 ・医薬分業のしくみと意義、かかりつけ薬局の意義を説明できる。 ・薬局の形態および業務運営ガイドラインを概説できる。	C18(3)-①-1 C18(3)-②-1・2・3 C18(3)-④-1
2	・地域薬局の役割 ・薬局の業務運営 ・保険調剤業務の流れ	・調剤報酬および調剤報酬明細書(レセプト)について説明できる。 ・保険調剤業務の全体の流れを理解し、処方せんの受付から調剤報酬の請求までの概要を説明できる。 ・調剤の技術評価の対象について説明できる。	C18(3)-③-4 D3(3)-1 D3(3)-56
1	・地域薬局・業務運営 ・調剤録と処方せんの保管管理 ・処方せんの受付 ・処方せんの基礎	・調剤録の法的規制について説明できる。 ・調剤録への記入事項について説明できる。 ・調剤録の保管、管理方法、期間などについて説明できる。 ・調剤後の処方せんへの記入について説明できる。 ・処方せんの保管、管理の方法、期間などについて説明できる。 ・処方せん受付時の対応、注意事項 ・処方せん（麻薬を含む）の形式および記載事項について説明できる。 ・処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。 ・不適切な処方せんの処置について説明できる。	D53(3)-50・51・52・53・54 D3(3)-3・4 D1(2)-3・6
4	・服薬指導の基礎 ・疑義照会の意義と根拠 ・患者情報の重要性	・服薬指導の意義を法的、倫理的に説明できる。 ・疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。 ・不適切な処方せんについて説明できる。 ・疑義照会の流れを説明できる。 ・服薬指導に必要な患者情報を列挙できる。	D1(2)-12 D1(3)-1・4・9 D1(6)-8
5	・地域薬局の役割 ・薬局の業務運営	・学校薬剤師の役割を説明できる。 ・保険薬剤師療養担当規則および保険医療養担当規則を概説できる。	C18(3)-①-3 C18(3)-③-1

6	・地域薬局の役割	・在宅医療および居宅介護における薬局薬剤師の役割を説明できる。	C18(3)-①-2
7	・薬局の業務運営	医薬品の流通のしくみを概説できる。	C18(3)-③-3
8	・地域薬局の役割 ・医療関係者(他職種)	・コミュニティーファーマシー（地域薬局）のあり方と、かかりつけ薬剤師の職能について ・企業で活躍する薬剤師他	F1(4)-①-1・2・3 F1(4)-②-1・2
9	・OTC 薬	・主な一般用医薬品（OTC 薬）を列挙し、使用目的を説明できる。 ・薬局で取り扱うアイテムが医療の中で果たす役割について説明できる。	D3(1)-1
10	・セルフメディケーション ・災害時医療と薬剤師	・セルフメディケーションにおける薬剤師の役割や受診勧奨および来局者のトリアージについて説明できる。 ・災害時医療について概説できる。	C18(3)-④-1・2・3 D3(4)-6
11	・OTC 薬 ・一般用医薬品・健康食品	・漢方薬、生活改善薬、サプリメント、保健機能食品について概説できる。 ・OTC 薬販売・相談の基本と実際例	
12	・薬局の業務運営	・クレームの内容とその対策 ・来局者とのコミュニケーション 演習実施	C18(3)-④-1
13	・患者情報の重要性 ・チーム医療への参画 ・総論	・医師、看護師などとの情報共有の重要性 ・医療機関におけるチーム医療 ・薬薬連携と地域薬局他	D1(6)-10 C18(3)-②-2

成績評価の方法	試験により評価する。
成績評価の基準	筆記試験の結果、60 点以上を合格とする。
教科書	使用しない。授業プリントを配布する。
参考書など	日本薬学会「スタンダード薬学シリーズ 11 病院・薬局実務実習 I・II」（東京化学同人） 「第一三改訂調剤指針」薬事日報社・ビジュアル薬剤師シリーズ・薬局調剤の基本」（羊土社）